

吉田城君へ

時が流れて、ひと月余り
訃報の驚きは炎天に広がる
日比谷44年卒34Rの教室
見上げれば天井に風穴が開き
城君の言霊が降り注いでいます

書店に走り著書を求め読みました
テキストからイメージへ
ブルーストと中世芸術の出会い
に出会いました
その深さに水面を漂うばかりです

願わくば惜別の荒波を鎮め
星の光にお願いしましょう
水先案内をおまかせしましたよ
フランス文学の美しい岬めぐりへ
遠泳の泳者が見えるでしょう？

2005年7月31日

小林（伊東）佐起 Saki ITO-KOBAYASHI